

プレゼンテーション資料

2006年11月20日
投資家向け説明会



東京急行電鉄株式会社

(9005)

<http://www.tokyu.co.jp/>

目次



中間連結決算の概要	1
中期3か年経営計画（業績推移）	2
鉄軌道事業	3
東急線と相鉄線との相互直通運転	4
エリア戦略に基づく沿線拠点開発	5
リテール関連事業	6
東急ポイントカード	8



中間連結決算の概要

連結損益計算書

	(億円)		
	2006年9月 中間期	2005年9月 中間期	増 減
営業収益	6,738	6,813	-74
営業利益	379	467	-88
経常利益	368	342	+26
中間純利益	288	90	+198

当社 鉄軌道運輸成績(2006年9月中間期 対前年同期比)

	輸送人員(増減率)	運賃収入(増減率)
定期	+6,154千人(+2.1%)	+731百万円(+2.7%)
定期外	+3,393千人(+1.7%)	+525百万円(+1.5%)
合計	+9,547千人(+1.9%)	+1,256百万円(+2.0%)

連結CF計算書

	(億円)		
	2006年9月 中間期	2005年9月 中間期	増 減
営業活動によるCF	723	726	-3
投資活動によるCF	-155	-65	-90
財務活動によるCF	-681	-824	+143
現金及び現金同等物 期末残高	260	491	-231

除外による影響額(億円)

【除外】	営業収益	営業利益	総資産	有利子負債
TCプロパティーズ	-60	+10	-382	-21
日本貨物急送	-25	0	-	-
伊豆貨物急送	-8	0	-	-

配当状況

	中間期末	期末	年間
2006年3月期	2.5円	2.5円	5.0円
2007年3月期	3.0円	3.0円	6.0円

連結貸借対照表

			(億円)	
	2006年9月 中間期	対前期末	2006年9月 中間期	対前期末
流動資産	3,317	-421	10,401	-667
固定資産	15,603	-869	15,879	-1,285
資産合計	18,921	-1,291	3,042	+455
			18,921	-1,291

既存 - 645
除外 - 21

(*)2006年9月中間期の少数株主持分は純資産合計に含まれる。

自己資本比率 14.6% +1.8P



中期3か年経営計画 (業績推移)

	2006年3月期	2007年3月期			2008年3月期			2006年5月15日時点 予想		(億円)
	実績	11/15 予想	対前年増減	対5/15予想	11/15 予想	対前年増減	対5/15予想	2007年3月期	2008年3月期	中期経営計画 (2005年3月策定) 2008年3月期
営業収益	13,885	13,800	-85	50	13,870	70	-10	13,750	13,880	15,200
営業利益	856	794	-62	4	820	26	30	790	790	760
経常利益	740	760	20	40	760	0	70	720	690	630
当期純利益	419	430	11	30	450	20	30	400	420	390
自己資本 (*CB転換)	2,587	2,951 (3,171)	364 (584)	25 (25)	3,328 (3,548)	377 (377)	56 (56)	2,926 (3,146)	3,272 (3,492)	2,850
有利子負債 (*CB転換)	11,069	10,500 (10,280)	-569 (-789)	-150 (-150)	10,200 (9,980)	-300 (-300)	-200 (-200)	10,650 (10,430)	10,400 (10,180)	11,200
東急EBITDA	1,573	1,597	24	70	1,581	-16	51	1,527	1,530	1,530
自己資本比率 (*CB転換)	12.8%	15.2% (16.3%)	2.4P (3.5P)	0.3P (0.2P)	17.0% (18.1%)	1.8P (1.8P)	0.3P (0.3P)	14.9% (16.1%)	16.7% (17.8%)	13.2%
D/Eレシオ (*CB転換)	4.3倍	3.6倍 (3.2倍)	-0.7 (-1.1)	0.0 (-0.1)	3.1倍 (2.8倍)	-0.5 (-0.4)	-0.1 (-0.1)	3.6倍 (3.3倍)	3.2倍 (2.9倍)	3.9倍
有利子負債/ 東急EBITDA倍率 (*CB転換)	7.0倍	6.6倍 (6.4倍)	-0.4 (-0.6)	-0.4 (-0.4)	6.5倍 (6.3倍)	-0.1 (-0.1)	-0.3 (-0.4)	7.0倍 (6.8倍)	6.8倍 (6.7倍)	7.3倍

(*)2007年3月30日満期円建転換社債(2006年9月中間期末残高 220億円 転換価格 646円)が全て転換した場合の数値

東急EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん(連結調整勘定)償却額 + 固定資産除却費

鉄軌道事業



2000年9月 目黒線相互直通運転開始

2001年3月 東横線特急運転開始

2004年1月 東横線横浜～桜木町廃止

2004年2月 横浜高速鉄道みなとみらい線開業

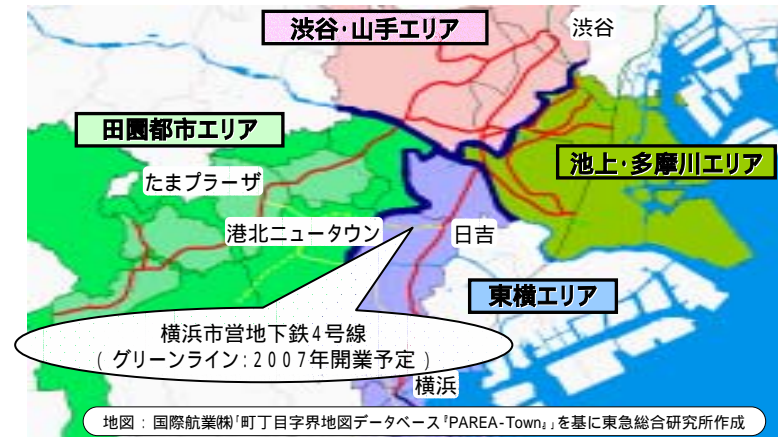
2005年3月 運賃改定

2006年9月 目黒線急行運転開始

年/月		2001/03		2002/03		2003/03		2004/03		2005/03		2006/03		2006/09 (中間)		2007/03 (予想)		
運賃収入 (百万円)	合計	実績	増減(%)	実績	増減(%)	実績	増減(%)	実績	増減(%)	実績	増減(%)	実績	増減(%)	実績	増減(%)	予想	増減(%)	
	定期	50,706	0.4	50,867	0.3	50,987	0.2	51,414	0.8	52,153	1.4	53,607	2.8	27,857	2.7	124,339	1.9	
	定期外	62,905	3.8	66,313	5.4	67,515	1.8	69,392	2.8	67,807	-2.3	68,469	1.0	34,849	1.5	54,855	2.3	
輸送人員 (千人)	合計	946,854	1.3	963,447	1.8	968,745	0.5	984,750	1.7	984,719	0.0	995,657	1.1	513,344	1.9	1,013,162	1.8	
	定期	571,715	-0.2	570,294	-0.2	569,089	-0.2	573,380	0.8	582,561	1.6	588,800	1.1	306,065	2.1	600,032	1.9	
	定期外	375,139	3.6	393,153	4.8	399,656	1.7	411,370	2.9	402,158	-2.2	406,857	1.2	207,279	1.7	413,130	1.5	
	線別輸送人員	東横線	381,444	-0.3	387,797	1.7	392,036	1.1	395,552	0.9	390,497	-1.3	392,163	0.4	201,235	1.4		
	目黒線	71,769	11.7	84,642	17.9	84,929	0.3	87,769	3.3	90,035	2.6	92,017	2.2	47,755	2.8			
	田園都市線	380,815	2.4	387,149	1.7	390,023	0.7	399,272	2.4	404,263	1.3	412,223	2.0	214,259	2.6			
	大井町線	116,360	1.2	118,007	1.4	119,383	1.2	125,402	5.0	128,963	2.8	131,396	1.9	68,557	3.5			
	池上線	75,699	0.1	75,734	0.0	75,654	-0.1	75,744	0.1	75,031	-0.9	75,266	0.3	38,729	2.2			
多摩川線	49,510	1.3	48,403	-2.2	48,221	-0.4	48,735	1.1	49,601	1.8	50,281	1.4	25,757	1.5				
沿線人口 (千人)	合計	4,614	1.1	4,670	1.2	4,724	1.2	4,771	1.0	4,814	0.9	4,867	1.1					
	渋谷・山手エリア	1,216	0.8	1,224	0.7	1,232	0.7	1,240	0.6	1,246	0.5	1,260	1.2					
	田園都市エリア	1,552	1.9	1,582	1.9	1,609	1.7	1,630	1.3	1,648	1.1	1,667	1.2					
	東横エリア	886	0.9	899	1.5	910	1.2	922	1.3	932	1.1	942	1.1					
	池上・多摩川エリア	960	0.4	965	0.5	973	0.8	979	0.6	989	1.0	998	1.0					

住民基本台帳人口要覧(国土地理協会)を基に東急電鉄が作成

渋谷・山手エリア	渋谷区、世田谷区、目黒区
田園都市エリア	川崎市高津区・宮前区、横浜市青葉区・都筑区 緑区、町田市、大和市
東横エリア	川崎市中原区、横浜市港北区・神奈川区・西区 中区
池上・多摩川エリア	品川区、大田区





東急線と相鉄線との相互直通運転

横浜市西部、神奈川県中部から東京都心へのアクセス向上
東横線、目黒線から新幹線へのアクセス向上
広域鉄道ネットワークによる地域の活性化

運行区間
相鉄線 西谷駅付近 横浜羽沢駅付近 新横浜駅付近 日吉駅付近 東横線

都市鉄道等利便増進法の概要

- 【整備主体】鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国及び地方自治体からの補助金(2/3)
- 【営業主体】当社、相模鉄道 施設使用料を支払い営業を行う



JR 横浜羽沢駅付近 ~ 東横線日吉駅付近間連絡線

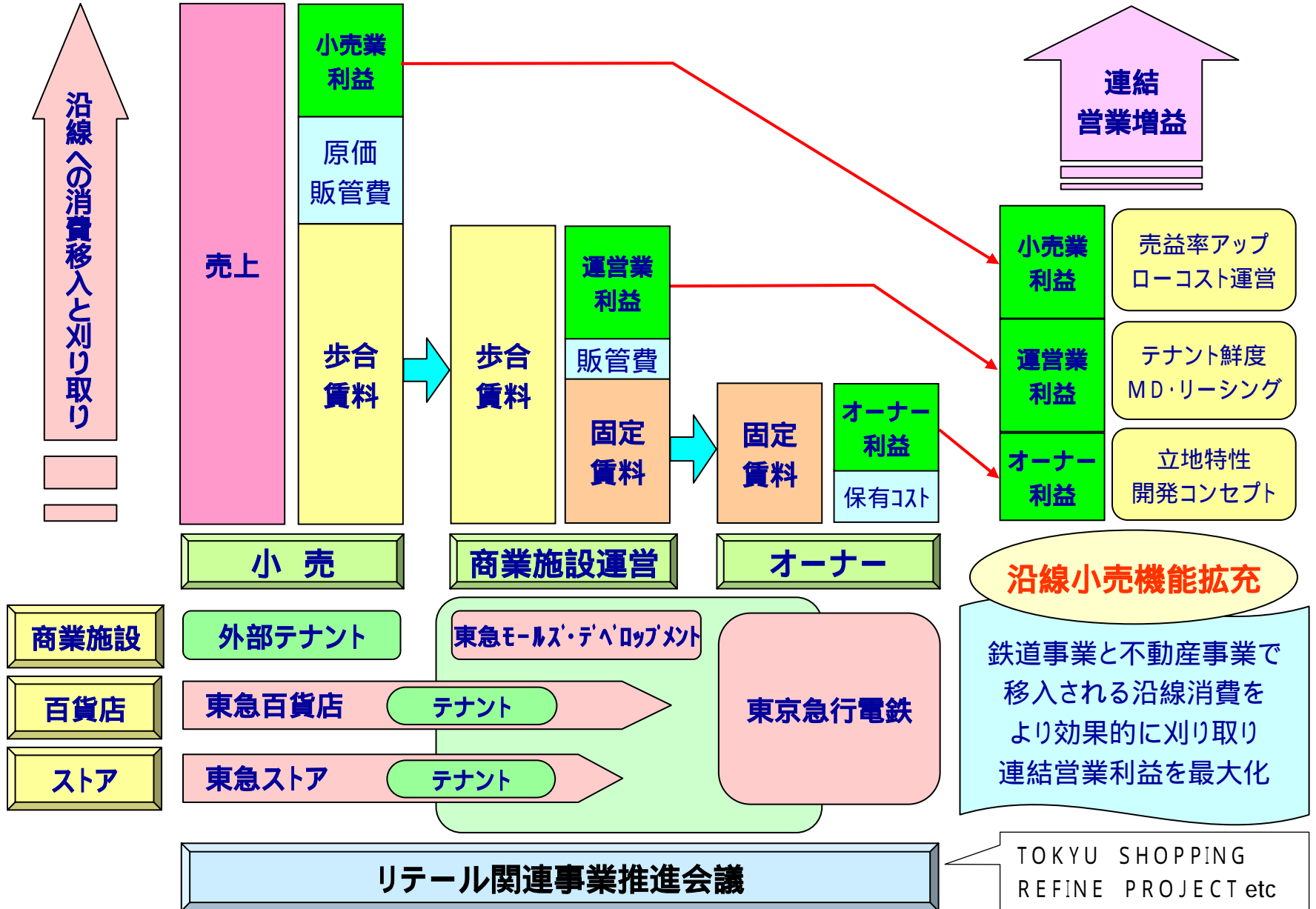
相鉄西谷駅付近 ~ JR 横浜羽沢駅付近間連絡線

エリア戦略に基づく沿線拠点開発





リテール関連事業



リテール関連事業

TOKYU SHOPPING REFINE PROJECT ~ 連携の事例 東急ストア ~



沿線への継続的な出店による
ドミナント化の推進

連携による店舗活性化

東急ストア ドミナント戦略

- ・顧客との強固なロイヤリティの確立
- ・沿線基盤強化

エリア戦略

マーケット動向

あざみ野店 2007年春

- ◆オーナー(東急電鉄)
【改装投資】
- ◆施設運営・小売(東急ストア)
【リニューアル】



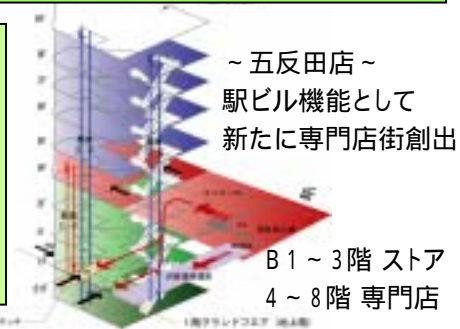
プレッセ南町田店(グランベリーモール内) 2007年春

- ◆施設運営(TMD)
&小売(東急ストア)
協業による【施設改善】
および【リニューアル】



五反田店・自由が丘店 2008年春以降

- ◆オーナー(東急電鉄)
【改装投資】
- ◆施設運営(東急ストア)
【リニューアル】



段階的に推進

駅構内物件

- ・鉄道駅工事に伴う、
出店スペースの確保
- ・小規模店舗
(400~600㎡)
- ・効率的なオペレーション

ロードサイド物件

- ・グループ各社
開発部門との
情報共有

再開発物件

- ・グループ
各社開発
との連携

惣菜カテゴリー強化型
ニューショップの確立

店舗空白地帯の
掘り起し

開発物件
への出店



東急ポイントカード

2006年4月1日 東急ポイントカード「TOP & (トッパンド)」発行、グループ各社共通ポイントサービス開始

グループ各社カード

一体化により各種の割引優待制度を統一

東急TOP
カード

東急百貨店
ClubQポイント
TOPカード

発行枚数75万枚
(沿線35万枚)

発行枚数64万枚
(沿線34万枚)

東急ストア
ポイントカード

東急
ポイントカード
「TOP &」

発行枚数9万枚
(沿線8万枚)

(発行枚数: 2006年3月末現在)

IC乗車券「PASMO」と連携
2007年3月(予定)

TOKYUポイント
チャージサービス

TOKYU
ポイント → PASMO
(電子マネー)

PASMO
オートチャージサービス

TOP & クレジットによる
PASMOへの自動入金機能

グループ外企業との連携を推進

JALとの提携
ポイントとマイルの相互交換機能を付加

TOP & ClubQ
JMBカード

JALカード
TOP & ClubQ

TOKYU
ポイント

↔ JALマイル

10年間の設備投資額
20億円

「TOP &」目標発行枚数 沿線内200万枚 (2008年3月期)

グループ全体で東急線沿線での利便性向上を促進し、顧客基盤を強化

「将来の見通しについて」

ここに掲載されている情報のうち過去の歴史的事実以外のものは将来の見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますことをご了承ください。